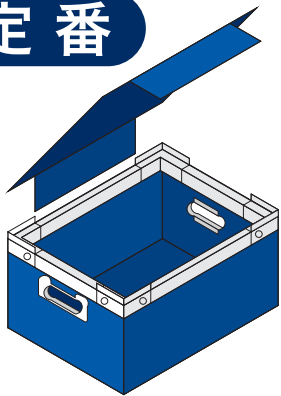


コンテナ

フレーム・コーナーで高強度・安定した段積みが行えます。
重い物を入れる時にはこの仕様がオススメ!

定番



羽蓋コンテナ

保管から輸送まであらゆる用途にオススメの仕様です。
蓋を付けた状態で積み上げて保管・輸送に使用できます。

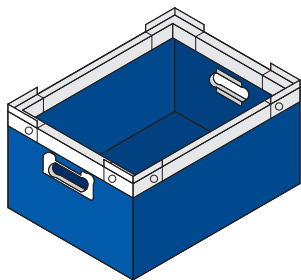
ベルトを付けることでテープでの固定が不要になり、作業性向上に役立ちます。



羽蓋着脱時

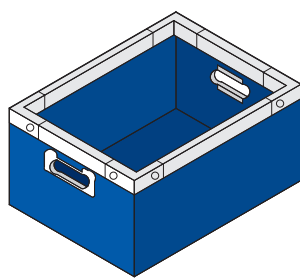


ベルト取り付け



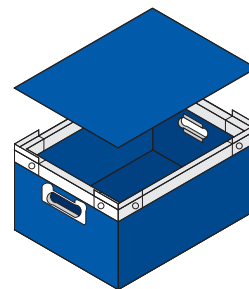
リブ付コンテナ

角にリブ (立ち上がり) があり横ずれ防止になるため、積み上げての保管などにオススメの仕様です。



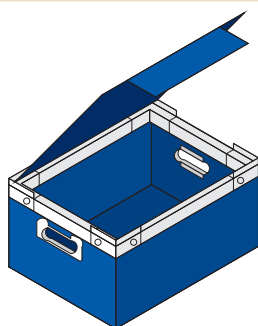
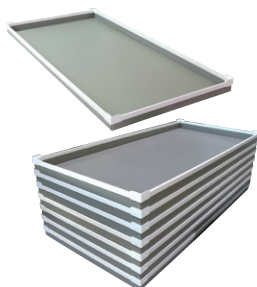
リブ無しコンテナ

棚に入れたり、ケース単体で使用する場合など、積み上げが不要な場合にオススメの仕様です。



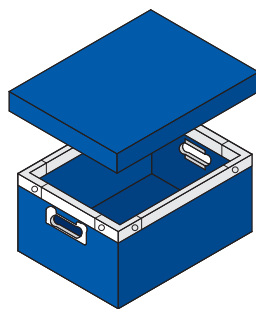
乗せ蓋タイプ

乗せているだけのため、蓋の開閉が容易です。
蓋が必要で低コストで抑えたい方にオススメの仕様です。



羽蓋片面打付タイプ

羽蓋の片側を固定しており、蓋の紛失を防止したい場合にオススメの仕様です。



被せ蓋タイプ

開口部を蓋で覆うため、ケース内への埃などの侵入を対策したい方にオススメの仕様です。
面ファスナー不使用で蓋を付けたい場合にも適しています。

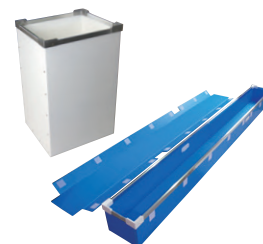


その他仕様事例



コンテナ

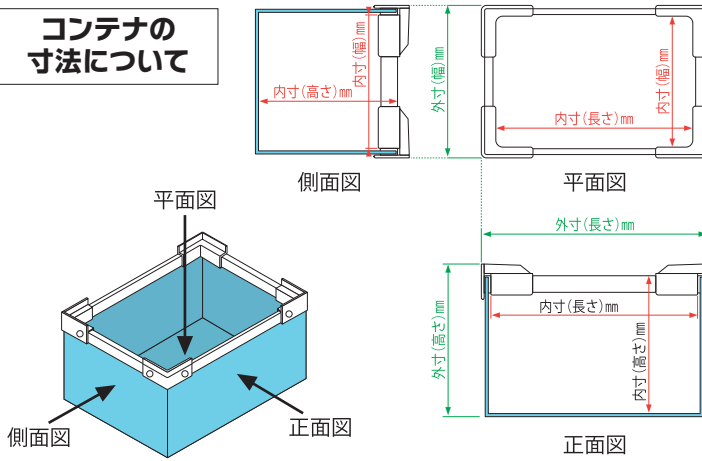
耳羽蓋タイプ



コンテナ

アルミフレームタイプ

コンテナの寸法について



内寸

箱の内側のサイズです。高さは内底からフレームの上までです。
 ※コンテナタイプは、コーナーのところが出っ張っています。一番狭くなっているところを入り口内寸と言い、内底より15ミリ狭まりますので出し入れに引っかかりそうな場合は、入り口内寸を確保します。

外寸

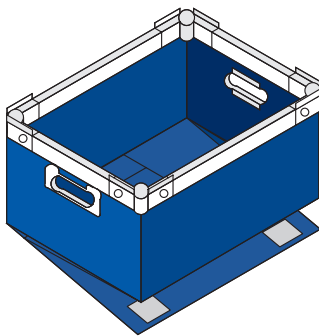
コーナーの外側で一番出っ張っているところの寸法です。
 ※箱底の外側の寸法より15ミリ大きくなります。高さは箱底からコーナーの上までです。コーナーの種類で若干違いが出ます。

補足

部材（鋳・取手・バックルなど）を含まない寸法となります。詳細な寸法をご希望の方は、別途にご相談となります。
 各寸法は、理論上の数値となっています。プラダンの性質上、若干の誤差（±10ミリ程度）は、ご容赦ください。
 ※寸法厳守とした場合、内寸は三辺それぞれ+10ミリ、外寸はそれぞれ-10ミリの設計となります。

折りたたみコンテナ

未使用時に折り畳むことのできるコンテナです。ケース自体の保管や返送時のスペースを節約できます。羽蓋や乗せ蓋などのオプションもそのまま使用できます。



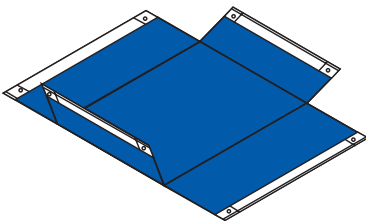
ボタンコンテナ

A式とコンテナのハイブリッド仕様です。底は面ファスナーで仮留めが可能です。蓋とベルトを追加することで、重い物を入れた際の輸送にも適しています。



ペタンコンテナ

高さが低い場合や、軽い物を入れる場合にオススメの仕様です。側面一面だけを開けて物を取り出す用途にも適しています。



上下折り畳みコンテナ

底面積を変えずに、高さ方向に小さく畳める仕様です。畳んだ状態での積み上げ保管も可能です。

